

# ボツリヌス療法について

## 痙縮とは



### 腕・手の痙縮の特徴

- ・肘が曲がる
- ・手首が手のひらの方に曲がる
- ・指が閉じてしまう



### 下肢の痙縮の特徴

- ・膝が伸びる
- ・足首がつっぱって踵が浮く

痙縮とは脳や脊髄の病変が原因となって生じる筋肉の硬さ、およびそれに伴う動かしにくさを特徴とする症状です。痙縮は日常生活に対して様々な悪影響を及ぼします。手足が動かしにくいために歩きにくい、服の着脱がしづらい、食事がしづらい、手が洗いづらいなどの生活動作の場面で特に困難をきたします。痛みをとまなうこともあります。

## 痙縮の治療

痙縮の治療にはボツリヌス療法、経口筋弛緩薬、フェノールやアルコールによる局所注射療法、外科的治療などがあります。この中で最も有効性が高く、副作用も少ないのはボツリヌス療法です。

## ボツリヌス療法の有効性

ボツリヌス療法では A 型ボツリヌス毒素からなる薬液を筋肉内に注射します。A 型ボツリヌス毒素は神経毒という名称から受ける印象とは異なり、極めて安全性の高い治療です。英国内科医師会によるガイドラインや、米国神経学会のガイドラインにおいて種々の原因疾患による痙縮に対し本剤が最も推奨される治療と評価されています。本邦でも脳卒中治療ガイドライン 2021 において痙縮に対する治療としてボツリヌス療法が推奨されています。

## ボツリヌス療法を受けるには

本邦では規定の講習を受けた医師により、痙縮に対するボツリヌス療法を行うことが可能です。当院リハビリテーション科では上下肢の痙縮に対して積極的にボツリヌス療法を行っています。痙縮のために日常生活に困難を抱え悩まれている方がいらっしゃいましたら、リハビリテーション科外来をご紹介ください。